



神奈川県議会議員

わき 陽子

【議会報告】

立憲民主党・民権クラブ 県議団

だれひとり
とり残さない

ともに生きる神奈川へ

議会報告2022年6月号

恒久の平和を念願し

戦争をしないと宣言した日本国憲法の前文の言葉を見出しにしました。ロシアによるウクライナ侵攻が長期化しています。5月23日に行われた日米首脳会談後の会見で、岸田総理は「日本の防衛力を抜本的に強化し、その裏付けとなる防衛費の相当な増額を確保する決意を表明した」と述べました。これまで長い間GDP 1%前後で推移してきた防衛費が、米国が求めるGDP比2%相当への引き上げを反映した発言でもあり、怒りを覚えます。6月23日は沖縄慰霊の日。松代大本営を完成させるための時間稼ぎとして行われた沖縄戦。民間人を巻き込み、失う必要のない20万人もの命が犠牲となった鎮魂の日です。沖縄戦後に、広島・長崎への原爆投下でさらに犠牲者を増やし、8月15日を迎えました。



私たちはこの過去の戦争を決して忘れてはいけません。



神奈川県議会第2回定例会が始まり 所属の委員会が決定しました



5月17日より第2回定例会が始まりました。いよいよ任期4年の最終年にあたります。コロナの現状は、まだ予断を許さない状況でもありますが、最終年、いのちとくらしを守り、誰ひとりとり残さない神奈川の実現に向け、全力で頑張っています。所属する委員会は、防災警察常任委員会、共生社会推進特別委員会となりました。

防災警察常任委員会

危機管理、安全・安心まちづくり、災害対策、消防、消費生活、警察の管理運営、生活安全、地域、刑事、交通及び警備警察など

共生社会推進特別委員会

障がい福祉、特別支援教育、インクルーシブ教育・人権教育、高齢者支援・認知症対策、高齢者・障害者等介護の支援、ねんりんピック、生涯スポーツの推進、多文化共生、ペット・動物との共生、人権男女共同参画社会の推進など

予算委員会総括質疑 (3月14日)

「誰ひとりとり残さない 神奈川の実現に向けて」 知事の決意を質す



質問

新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の命や暮らしに大きな影響を及ぼした。児童虐待やDVの全国的な増加、非正規雇用労働者等の雇止め、女性の自殺者数の増加など、多くの県民も様々な負の影響を受けていることが浮き彫りとなった。コロナ禍では、社会的に脆弱な立場にある人ほどより大きなしわ寄せを受けており、そうした方々の人権課題が深刻化している。こうした状況も踏まえると、県民の命や暮らしを守るためには、今こそ、幅広い分野において人権尊重の視点から、具体の施策を推進していくことが非常に重要である。誰ひとりとり残さない、ともに生きる共生社会の実現のため、様々な困難を抱える県民すべてに対して、人権尊重の視点を持って施策を推進していくことについて、知事の決意を伺いたい。



知事答弁

今月中に改定される『かながわ人権施策推進指針』に基づき、あらゆる施策・事業を常に人権尊重の視点をもって推進していく。生活困窮者対策推進本部と共生推進本部の本部長である私が、リーダーシップを発揮し、人権尊重の視点をしっかり持ちながら、困難を抱える県民の暮らしを、公助と共助の両面から全力で支援し、「誰一人取り残さないかながわ」の実現を目指す。

藤沢駅南口交番が 一時閉鎖となります

藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業および藤沢駅改良事業に伴い、今年の秋より藤沢駅南口交番が約5年間閉鎖となります。閉鎖期間中の市民の安全・安心確保に向けて、取組の強化を求める要望書を、藤沢市選出の5人の県議で、警察本部長あて手交しました。



更生から支援へ 「困難女性支援法」成立

貧困やDVなどに直面する女性の自立に向けて公的支援を強化。「売春防止法」の婦人保護事業を見直し「女性相談支援センター」の設置を都道府県に義務付けることなどが柱。とにかく国は十分な予算を付けを！

立憲民主党・民権クラブ 県議団

神奈川県議会議員

脇 れい子

【経歴】

辻堂生まれ 高砂小、湘洋中、 県立平塚江南高校、
日本女子大学文学部卒 藤沢市議会議員2期

【所属委員会】

防災警察常任委員会
共生社会推進特別委員会

ご意見・ご相談をお寄せください。

立憲民主党・民権クラブ脇れい子藤沢市政務活動事務所

〒251-0026 藤沢市鶴沼東4-6藤沢奥田ビル203

TEL : 0466-90-4737 FAX : 0466-90-4740

E-mail wakireiko.office@gmail.com

<http://wakireiko.jp>

